

本書は、Android®端末専用アプリの操作説明書です。
RS-MS1Aは、アイコム製D-STAR®無線機に搭載されたDVモードの機能を拡張できるアプリです。

RS-MS1Aをご使用いただくために必要な動作環境について

(2020年8月現在)

◎Android5.0以降

動作確認済みOS:

Android 5.x.x/6.x.x/7.x.x/8.x.x/9.0/10.0

※動作確認済み機種は弊社ホームページの「RS-MS1A
動作確認機種一覧表」でご確認ください。

<https://www.icom.co.jp/lineup/options/RS-MS1A/>

※Android4.x.xの端末では、バージョン1.2.5までをお
使いいただけますが、アップデートはできません。

◎USBホスト機能(データ通信ケーブルで無線機と接続する場合)

◎Bluetooth機能(Bluetoothで無線機と接続する場合)

※インストールされているソフトウェアやメモリーの容量、
端末の設定によって正しく表示されない場合や、一部機
能が使用できない場合があります。

あらかじめご了承ください。

※本書は、RS-MS1A バージョン1.3.3、Android7.0を
使用して説明しています。

アプリ、OSのバージョンや設定、接続する無線機により、
お使いの端末と多少異なる場合があります。

※本アプリは縦画面専用です。

Android端末が持つ画面の自動回転や横画面固定表示に
は対応していません。

アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、アイコムロゴは、アイコム株式会社の登録商標です。

D-STARは、一般社団法人 日本アマチュア無線連盟の登録商標です。

Bluetoothのワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、アイコム株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

Androidは、Google LLCの商標または登録商標です。

その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

なお、本文中ではTM、®などのマークを省略しています。

本書の内容の一部、または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。

RS-MS1Aに対応した無線機とそのおもな機能について

| | ID-31PLUS | ID-4100 ID-4100D | ID-51 (50周年記念モデル/ PLUS/PLUS2) | ID-52 | ID-5100 ID-5100D | IC-705 | IC-9700 IC-9700S | ID-51 ID-31 | IC-7100 IC-7100M IC-7100S |
|--------------------------|---------------------------------------|--|---------------------------------------|--|--|--|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| DVファーストデータ通信 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○★ ¹ | ○ | ○ | — | — |
| DR 機能 | ○ | ○ | ○ | ○★ ² | ○ | ○★ ³ | ○★ ⁴ | — | — |
| 画像伝送 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| テキスト伝送 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 地図 | ○ | ○ | ○ | ○★ ² | ○ | ○★ ³ | ○★ ⁴ | — | — |
| オフライン地図 | ○ | ○ | ○ | ○★ ² | ○ | ○★ ³ | ○★ ⁴ | — | — |
| 受信履歴 | ○ | ○ | ○ | ○★ ² | ○ | ○★ ³ | ○★ ⁴ | — | — |
| 相手局メモリー | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| レピータリスト | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 無線機設定 | ○ | ○ | ○ | ○★ ² | ○ | ○★ ³ | ○★ ⁴ | — | — |
| アプリケーション設定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| インポート | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| エクスポート | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| USB 接続 | ○ | — | ○ | ○★ ⁵ | — | ○★ ⁵ | ○ | ○ | ○ |
| USB 接続に使用するケーブル (別売品) | OPC-2350LU* ⁶ データ通信ケーブル | — | OPC-2350LU* ⁶ データ通信ケーブル | OPC-2417 (Micro-B/Micro-B) OPC-2418 (Micro-B/Type-C) データケーブル | — | OPC-2417 (Micro-B/Micro-B) OPC-2418 (Micro-B/Type-C) データケーブル | OPC-2350LU* ⁶ データ通信ケーブル | OPC-2350LU* ⁶ データ通信ケーブル | OPC-2350LU* ⁶ データ通信ケーブル |
| Bluetooth 接続 | — | UT-137 Bluetooth® ユニット (別売品) が必要 | — | ○ | UT-133 Bluetooth® ユニット (別売品) が必要 | ○ | — | — | — |

★1 右記のバージョン以降に限ります。CPU M 1.10/S 1.00/C 1.10/DSP 1.10

★2 RS-MS1Aバージョン1.3.3以降に限ります。

それより前のバージョンをお使いの場合、「接続する無線機の選択」画面の「その他(Bluetooth接続)」を選択すると接続できますが、この機能は使用できません。

★3 RS-MS1Aバージョン1.3.2以降に限ります。

それより前のバージョンをお使いの場合、「接続する無線機の選択」画面の「その他(Bluetooth接続)」を選択すると接続できますが、この機能は使用できません。

★4 RS-MS1Aバージョン1.3.0以降に限ります。

それより前のバージョンをお使いの場合、「接続する無線機の選択」画面の「その他(USB接続)」を選択すると接続できますが、この機能は使用できません。

★5 RS-MS1Aバージョン1.3.2以降に限ります。

★6 Android端末のUSBポートがUSB Type-Cの場合、データ通信ケーブルの接続にはUSBホスト(OTG)機能対応の変換ケーブル(市販品)が必要です。

メニュー項目の説明

メニュー項目について説明します。

① [DR]

無線機のDR機能と同じように、「FROM」/「TO」を設定できます。

② [画像伝送]

簡易データ通信を使用して、選択した画像を送信できます。

また、受信した画像や送信した画像が確認できます。

※ID-4100/ID-4100D、ID-5100/ID-5100D^{★1}、
ID-31PLUS、ID-51 (PLUS2、PLUS、50周年記念モデル)、
ID-52、IC-9700/IC-9700S、IC-705使用時は、DVファーストデータ通信^{★2}でも送信できます。

③ [テキスト伝送]

簡易データ通信を使用して、入力したテキストを送信できます。

また、受信したテキストや送信したテキストが表示されます。

※ID-4100/ID-4100D、ID-5100/ID-5100D^{★1}、
ID-31PLUS、ID-51 (PLUS2、PLUS、50周年記念モデル)、
ID-52、IC-9700/IC-9700S、IC-705使用時は、DVファーストデータ通信^{★2}でも送信できます。

④ [地図]

相手局やレピータ局の位置を地図上に表示できます。

また、「FROM」/「TO」を地図上から指定できます。

⑤ [オフライン地図]

お客様が用意した地図画像と、緯度経度情報をRS-MS1Aに登録することで、インターネットに接続できない環境(オフライン)でも自分や相手の現在地が確認できる機能です。

※詳しくは、弊社ホームページに掲載の「RS-MS1A ~オフライン地図について~」をご覧ください。

⑥ [受信履歴]

DVモードで受信した相手局の情報を確認できます。

また、無線局情報サイトにリンクすることもできます。

⑦ [相手局メモリー]

DR機能で使用する相手局コールサインや名前を追加したり、編集したりできます。

⑧ [レピータリスト]

レピータリストに登録されている詳細情報を確認できます。

※無線機のレピータリストとは同期していません。

無線機と同じ内容のレピータリストをアプリにインポートしてご使用ください。

⑨ [無線機設定]

RS-MS1Aから、無線機にある一部の機能を設定できます。

⑩ [アプリケーション設定]

RS-MS1Aで表示される表示単位など各種設定ができます。

メニュー表示アイコン



⑪ [インポート]

レピータリスト/相手局メモリーをインポートできます。

⑫ [エクスポート]

レピータリスト/相手局メモリー/受信履歴をエクスポートできます。

⑬ 接続状態によって、下記のどちらかが表示されます。

[Bluetooth接続]

BluetoothでBluetoothユニット搭載無線機と接続します。

[USB接続]

USBケーブルとの接続に対応している無線機と接続します。

⑭ [アプリケーション終了]

RS-MS1Aを終了します。

★1 下記のバージョン以降に限りです。

CPU M 1.10/S 1.00/C 1.10/DSP 1.10

★2 無線機設定の「DVファーストデータ」を設定すると、通常時より約3.5倍の速度でデータだけを送信できます。

「DVファーストデータ」設定時でも、PTTを押しているあいだは、音声も同時に送信します。

DR機能の「FROM」と「TO」を設定できます。
送信する周波数は、この画面から設定します。



画像伝送

【送信画面】

撮影、または保存した画像を無線機から送信できます。
画面中央の黒い場所をロングタップすると、画像選択画面に移動します。

- ★1 受取人の設定ボタンをタップして、画像の送り先が受信側で明確になるように指定します。
受取人以外に画像の受信を制限することはできませんので、受取人を指定しても、電波を受信した第三者側で画像が表示されます。
- ★2 画像伝送の送信画面からもメッセージを送信できます。
- ★3 写真の位置情報も同時に送信する場合は、「位置情報」をタップして位置情報を入力してください。

【受信画面】

相手局が送信した画像を受信すると、受信画面で確認できます。

「画像保存」をタップすると、受信した画像をAndroid端末に保存します。

※icom\RsMs1a\Pictures内に自動で保存されます。

「icom」フォルダーは、お使いのAndroid端末によってSDカードに作成される場合と内蔵のメモリー領域に作成される場合があります。

【送信履歴】

送信した画像を一覧表示します。

履歴をタップすると、再送信の設定ができます。

最大500件の送信履歴を記憶できます。

500件を超えると古い履歴から削除されます。

履歴をロングタップすると、削除できます。

【受信履歴】

受信した画像を一覧表示します。

履歴をタップすると、画像を保存できます。

最大500件の受信履歴を記憶できます。

500件を超えると古い履歴から削除されます。

履歴をロングタップすると、削除できます。

送信画面



受信画面



送信履歴

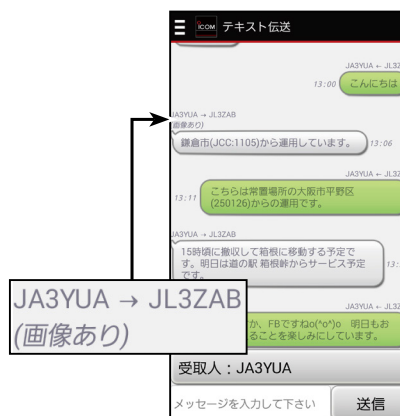


受信履歴



テキスト伝送

入力したテキストを無線機から送信できます。
送信すると、画面の右側に送信テキストが表示されます。
また、「受取人」を設定している場合は、「----」に設定した受取人の名前が表示されます。
テキストを受信すると、画面の左側に表示されます。
※画像と同時にテキスト伝送された場合は、コールサインの下に画像添付案内(画像あり)が表示されます。



地図

地図には、下記の情報がアイコンとして表示されます。

- DVレピータ
- FMLレピータ
- 受信した相手局

※位置情報を含んでいる場合に限りです。

アイコンをタップすると、アイコンの情報が表示されます。
さらに、そのアイコン情報をタップすると、DR機能の「FROM」と「TO」を設定できます。

※レピータリストをインポートした場合は、Android端末のメニューボタンで、レピータ局を非表示にしてから再度レピータを表示すると、インポートしたレピータリストが反映されます。



©Google

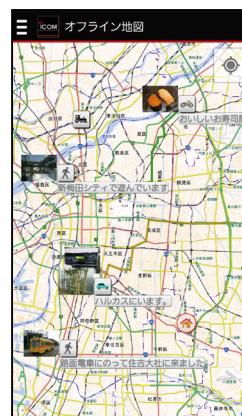
オフライン地図

インターネットに接続していなくても相手局や自局の位置を地図上に表示できます。

※表示させる地図画像は、用意していただく必要があります。

※オフライン地図の設定のしかたは、弊社ホームページからダウンロードできます。

<https://www.icom.co.jp/lineup/options/RS-MS1A/>



※この地図は、国土地理院 電子地形図タイルです。
※この地図は、「カシミール3D」ソフトウェアを使用しています。
「カシミール3D」ホームページアドレス
<http://www.kashmir3d.com/>

受信履歴

受信した情報を一覧表示します。

履歴をタップすると、相手局の詳細な情報が確認できます。

最大10000件の受信履歴を記憶できます。

10000件を超えると古い履歴から削除されます。

※Android端末のメニューボタンから、受信履歴の削除や検索ができます。

受信履歴ログについて

受信履歴ログをONに設定すると、icom\RsMs1a\RXHistoryLog内に自動でCSV形式のファイルが保存されます。

アプリケーション設定画面で、設定を変更できます。

※「icom」フォルダーは、お使いのAndroid端末によってSDカードに作成される場合と内蔵のメモリー領域に作成される場合があります。



相手局メモリー

相手局コールサインを登録できます。

「+」をタップすると、追加登録画面が表示されます。

最大500件の相手局メモリーを登録できます。

※500件を超えると、これ以上追加登録できないメッセージを表示します。

この場合は、登録された相手局コールサインを削除すると、登録できます。



インポート

レピータリスト、または相手局メモリーをインポートできます。

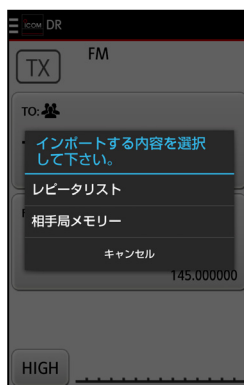
CSV形式のファイルをインポートできます。

※最新のレピータリストは、「インポート > レピータリスト > インターネットからダウンロード」を選択すると、弊社ホームページからダウンロードできます。

弊社ホームページ(D-STARサイト)

<https://www.icom.co.jp/personal/d-star/>

※DDLレピータ、DDシンプレックスの情報はインポートできません。



ご注意

無線機からエクスポートしたデータファイルは、パソコンやSDカードを介してRS-MS1Aにインポートすることができます。無線機とAndroid端末を接続して、データファイルを直接やり取りすることはできません。別途、パソコンやSDカードからAndroid端末へファイルをコピーしてください。

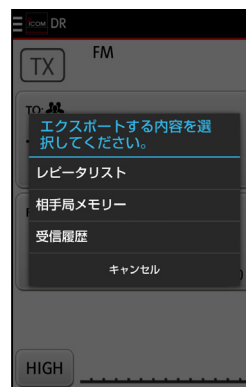
エクスポート

レピータリスト、相手局メモリー、または受信履歴をエクスポートできます。

エクスポートしたデータは、icom\RsMs1a\Exportに書き出されます。

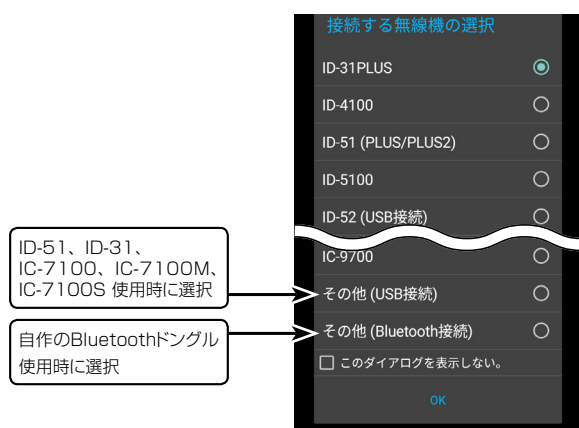
- 相手局コールサイン
「YourCallSignList_日時.csv」として、CSV形式のファイルが保存されます。
- レピータリスト
「RepeaterList_日時.csv」として、CSV形式のファイルが保存されます。
- 受信履歴
「RXHistoryList_日時.csv」として、CSV形式のファイルが保存されます。

※「icom」フォルダーは、お使いのAndroid端末によってSDカードに作成される場合と内蔵のメモリー領域に作成される場合があります。



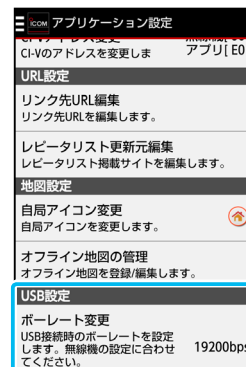
使用上のご注意

- RS-MS1Aを使用しないときは、OPC-2350LUやUSBケーブルをAndroid端末からはずしてください。ケーブルを接続したままにしておくと、Android端末のバッテリーの消耗が早くなります。
- 高画質で画像サイズが大きい画像を複数枚送信したり、長時間連続運用したりすると、USBホストライブラリの制限上、アプリが終了することがあります。アプリが終了したときは、再度アプリを立ち上げてください。
- Android端末によっては、画面消灯や省電力動作時にUSB端子への電源供給が停止することがあります。このような端末を使用する場合は、RS-MS1Aのアプリケーション設定で「画面自動消灯」のチェックを入れてご利用ください。
- 起動時は、接続する無線機を選択してください。



※選択できる無線機は、RS-MS1Aのバージョンによって異なります。接続する無線機が選択肢にない場合は、接続方法によって「その他(USB接続)」または「その他(Bluetooth接続)」を選択してください。

- ボーレートの設定を4800bpsに設定した状態で画像データを送信すると、データが欠落することがあります。無線機の設定に合わせて、RS-MS1Aのアプリケーション設定にある「ボーレート変更」で9600bps以上に変更してください。



- メニュー表示が画面内に収まらない場合は、Android端末のフォント(字体)や文字サイズの設定を変更してください。
- ID-31PLUS、ID-51PLUS2、IC-9700/IC-9700Sでは、RS-MS1AとRS-MS3Aは同時に使用できません。
- RS-MS1Aで画像や位置情報などを使用するには、Android端末でアプリに対する権限を許可する必要があります。操作方法や表記はお使いになる端末によって異なりますので、端末の取扱説明書をご覧ください。